

法人化による経営規模拡大

～農業生産法人 株式会社サン石垣ファーム（沖縄県石垣市）～

経営体の概要

就農時：平成28年

基幹作物：パインアップル（ボゴール、ソフトタッチ、スムース・カイエン）

経営面積：120a

現在：令和7年

基幹作物：パインアップル（ボゴール、ピーチ、ハワイ種、ゴールドパレル、サンドルチェ、ホワイトココ）

経営面積：600a

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【事業実施前】

- 水源に乏しく、畑かん施設が不備であったため、ため池等からの用水運搬の後、手掛けによるかん水を行うなど、労力を要していた。

【現在】

- 国営宮良川土地改良事業（昭和50年度～平成4年度）等によりかんがい施設が整備され、農業用水が安定的に供給。
- 本事業により、老朽化が進行している施設の改修等を行うことで、新規受益地も含めた農業用水の安定供給を図る。



底原ダム

営農改善、経営転換等のポイント

①法人化のメリットを活用した規模拡大及び新品種の導入

本経営体は、令和3年に法人化したことで、取引先からの信用が向上。農地の借り入れを積極的に進めることで経営規模の拡大を図っている。

また、新品種の栽培にもいち早く取り組んでおり、多彩な品種構成を実現している。

②栽培技術の確立・向上

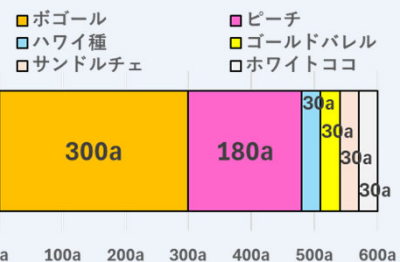
植付けを25～30cm間隔にすることで、生育環境が競合せず、高品質（高糖度、大玉化等）で健全な作物を育てることができている。

また、通気性の優れた二重ネットでの被覆による暑さ対策や、収穫前の除草、きめ細かな施肥管理を行うことで約2,500kg/10aの単収を確保。令和7年度に植付機を導入したことで適期に植付可能な面積が増加することから、更なる単収の増を見込んでいる。

③流通・販売の工夫と六次産業化も見据えた雇用予定

農産物は、経営体が就農前に勤めていた「フルーツショップサン石垣」に生産量の9割を出荷しており、卸先を通じて、県内外の大手小売業者に流通するほか、県外や海外（マレーシア）の催事への出品やインターネット販売が行われている。また、規格外品は「フルーツショップサン石垣」でフレッシュジュースとして加工し、店頭販売が行われている。

将来的には六次産業化への取組も目指していることから、令和9年には2名、将来的には5～6名を常時雇用する予定である。



栽培品種の内訳



ほ場の様子



栽培されるパイナップル

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：石垣市

受益面積：4,338ha

事業期間：平成26年度～令和10年度

事業目的：用水改良、畑地かんがい

主要工事：ダム5か所、頭首工3か所

揚水機7か所、

用水路（新設50km、改修55km）

位置図



<問い合わせ先>

沖縄総合事務局

農村振興課

企画指導官

電話：098-866-1652

（内線：83338）

（令和7年度調査時点）